

健やかに生き、安らかな最期を

# Living Will

2025年  
7月発行

No. 198

リビング・ウイル

もつとあるべき  
緩和ケアは  
ホス。ピスや

脚本家  
倉本 聰さん

- 25年度事業計画・予算決まる
- 電話・メール医療相談の結果まとまる
- 連載「四季の歌」たなばたさま



公益財団法人  
日本尊厳死協会

JAPAN SOCIETY FOR DYING WITH DIGNITY





「インタビュー」脚本家

# 倉本 聰さん

## ホスピスや 緩和ケアは もっとあるべき

「富良野にホスピスを」と題してのトークライブが4月、脚本家で尊厳死協会の顧問も務める倉本聰さんの活動の拠点、北海道・富良野で開かれ、会場に駆けつけた300人ほどを前に「ホスピスや緩和ケアが都市部に集中して地方では受けられない状況を何とかしたい」などと訴えました。トークライブの後、倉本さんに、語り切れなかった「終末期医療のあり方」や、90歳を迎えて感じる「死」に対する切実な思い、さらに富良野の自然の中の暮らしやテレビドラマの今、などについてもうかがいました。

インタビュー：構成／会報編集：郡司 武（写真も）

——今日のトークライブは「富良野にホスピスを」というテーマですが、倉本さんの切実な思いが伝わってきました。富良野の地で40年近く苦楽をともにしたスタッフの「コージさん」が4年前、半分のたうち回るような苦しみの中で壮絶な死をとげたこと（別掲7ページを参照）や、義理の弟さんの緩和ケアでの状況などを話されていましたが、それが今回のテーマ「富良野にホスピスを」のきっかけでしたか。

倉本 それは大きなきっかけでしたけど、それほどじゃないですね。——先ほどのトークライブでも紹介されていますが、北海道ではホスピスや緩和ケア病棟がこの15年で2倍に増えて22になったそうですけど、ここ富良野にはないんですね。

倉本 そうなんです。ないです。富良野には協会病院という総合病院がありますけど、ここには主に、旭川医大の大学病院から派遣された医師がとめているようです。ホスピスのような終末期医療の施設は都市部

に片寄っていて、緩和ケアは、富良野のような地方では望んでも受けられない。そういう現状なんです。ホスピスのような施設は、もっとあるべきだと、僕は常々、思ってきました。

——倉本さんは以前から終末期医療に関心がありましたか。

倉本 以前手がけた「風のガーデン」でも末期がんに侵された医師のドラマを書いてまして、ずっと終末期医療とか緩和ケアに関心はありましたから、富良野にもホスピスがぜひ欲しいと。そういう思いから企画したトークライブです。

——なるほど。その強い思いは、以前からずっとあったということですね。

倉本 でもね、ホスピスはけっこうお金もかかる。医師はもちろんですが、看護師など医療スタッフ、ボランティアも必要ですよね。多くの人数が必要なんです。私たちだけでできるわけではないし、市など自治体も協力してくれないとダメでしょ。今日のトークライブには市長にもぜひ来て聞いてほ

しかった。

### 「1番行きたいのは美容整形らしい」

——倉本さんが4年前、協会の会報「リビング・ウイル」（182号）に寄せられた緊急提言「そしてコージは死んだ」では、痛み・苦しみを取り除いてもらいたいというコージさんの望みも叶わずに、苦痛の極限のなかで亡くなられた経緯がリアルに描かれています。コージさんの最期に倉本さんが看護師さんに「薬にできませんか、何とか薬にしてください」と懇願しましたが、かきませんでした。安楽に死なせてあげてほしいとの願いは届きませんでしたね。

倉本 夜勤の若い看護師さんには、それ以上の麻薬の増量に踏み込む資格はなかったでしょうし、彼女たちにはおそらくそれ以上の医療判断は許されていないでしょう。——そうですね。

倉本 その晩、必死で対応してくれた看護師さんを責めるつもりは毛頭ありませんけど、その時ね、今、目の前に繰り返されていくことは、はたして人道的と言えるのかと思っただね。薬にできるのにしてやらない「ことは非人道的行為ではないか、許され

北海道ではこの15年でホスピスが2倍に増えているのに、富良野には……

### 倉本聡スペシャルトークライブ 富良野にホスピスを

4月7日、北海道・富良野の「富良野演劇工場」で、「富良野にホスピスを 生きる終末医療&陽の緩和ケア」と題してのトークライブが開かれ、会場に駆けつけた約300人を前に3時間、「富良野にホスピスを」と熱く訴えました。

演壇には倉本さんの他、緩和ケア医でがん患者でもある大橋洋平さん、富良野自然塾理事でがん患者でもあるネイチャーガイドの金澤晋一さん、司会の元テレビ朝日アナウンサーの宇賀なつみさん。会場の参加者から「3時間があっという間。大きな学びになりました」の声も聞かれました。



## 命より大事な仕事ってある？ 鼻が少し高くなっただけからってどうなんだろ

「電話帳から  
どんどん消えていく」

——先ほどのトークイベントで、「今、周りに人が亡くなっていくのを見てあまり思わなくなつて、冷たいのかも」とおっしゃっていましたね。

倉本 うーん。90まで生きてくると、「冷たい」というか、人の死が珍しくなくなるんですよ。「ああ死んだか」という思いかな。「心がさわがない」というか。僕の電話帳のなか

「電話帳から  
どんどん消えていく」

——さっきの「痛みや苦しみからの解放」に関してですけど、安楽死についてはどう思われますか。

倉本 若い時はそうじゃなかったですよ。今とは全然違いましたね。

「安楽死」が  
タブーになっている」

——正面から取り上げ、考えるべきだと。ところで7年前の会報（168号）のインタビューで倉本さんは、「元氣なうちに最後の『判断』をしておきたい」とし、尊厳死については、もっと解釈を広げていいんじゃないかと話されています。生きる望みを失ったという十分生ききったと思っ

たときは、人間は自裁してもいいような気もする、とも話されています。

倉本 そう思うね。私は90歳になりましたけど、もう十分生ききったと思ったときは、

「安楽死」が  
タブーになっている」

——さっきの「痛みや苦しみからの解放」に関してですけど、安楽死についてはどう思われますか。

倉本 若い時はそうじゃなかったですよ。今とは全然違いましたね。

ていいのかと。

倉本 これはもつと真剣に、いろいろな角度から考えていいんじゃないですかね、日本人は。「安楽死」がタブーになっているような今の世の中はおかしいと思いますね。



重いテーマについて語る、右から金澤さん、大橋さん、倉本さん、司会の宇賀さん。

「生命が一番尊い」と言うけれど、はたしてそうかなとも思わないでもないですね。

——「ホスピスが欲しい」ということについては、義理の弟さんの状況もあったようですね。

倉本 義理の弟が骨髄がんで何年も苦しんだ末に、最後は有馬温泉にあるホスピスに入ったんですけど、そこで想像を絶する痛みや苦しみから解放されたんです。入院直後に有馬に見舞ったとき、それまでの顔と全く違って、暗かった顔が明るくなり、人が

から、親しかった人たちがどんどん消えていきますからね。

僕、今、こういう富良野の自然の中に住んでまして、いろんな動物を見ますけど、死体というのを見ないんですよ。毎日歩いていて見ないんですから、どうなってるのかと思いませんね。

——他の動物に食べられちゃうんですね。

倉本 うん、食われるんだと思うんだけど、サーッと死体はなくなっちゃう。見たのは、この間、アオサギが鷹に襲われて食べられるのを見たくらいかな。

——そうですか。倉本さんは、私たち人間の存在について「必需品なのは衣もそうだし食も住もそうだけれど、それより最重要なのは空気と水で、その空気と水は森が作っている」と書かれています。

倉本 森が原点でしょうね、僕に言わせれば。だけど森はいろんなものを含んでいますから、「自然が原点」といったほうがいいかな。

——そういう森の体験を子どもたちにも、ということ。「富良野自然塾」の活動もあるわけですね。どのくらいの人に参加されますか。

スタッフ そうですね。通年で、夏場は

# 90歳まで生きてくると、人の死が珍しくなくなるんですよ

4000人ほどの小中学生や大人が参加しています。

——倉本さんは小学校時代、疎開を2回されてるんですよね。山形と岡山。

倉本 そうです。僕は東京生まれだけれど、その疎開の経験は大きいですね。でも、それ以前に、親父に連れられて「野鳥の会」の人たちと山歩きをしていたんです。親父が野鳥の会の創始者・中西悟堂さんと親友だったものだから。そのころから「自然どっぷり」でした。

## 「知恵から入らないとダメでしょ」

——話はガラッと変わりますが、「北の国から」は日本のテレビドラマ史上、画期的な出来事でした。今のテレビドラマをどうみていますか。

倉本 ひどいですね。

——脚本がなっていないということですか。

倉本 脚本を含め、全部ですね。脚本、演出など基礎からやり直してますね。0から始める必要があると思います。テレビでできることはまだいろいろあると思うんですが、それを探ろうとしないと思いますね。

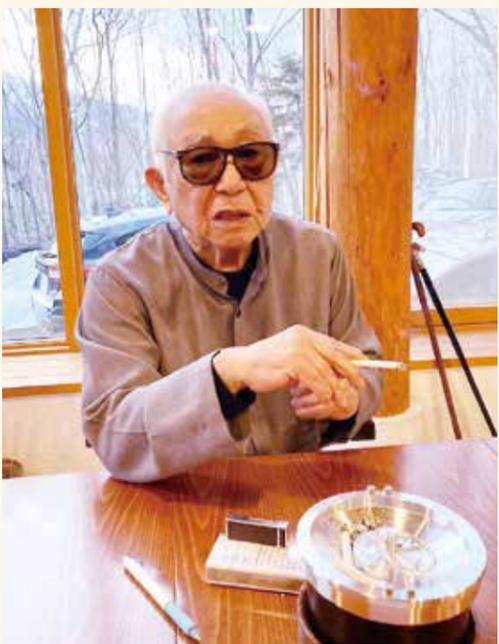
——残された可能性を、ですか。

倉本 基礎力がないから、探りようがないんだと思います。

——基礎力を鍛えるしかないですね。

倉本 まあね。僕は「富良野塾」を26年やっただんですけど、結果的に育たなかったですね。僕の教え方が悪かったせいもあるでしょうし。

——え、そんな。



# 【緊急提言】そしてコージは死んだ 倉本 聡

会報182号(2021年7月)の概略



富良野塾の創設期からのスタッフで、尊厳死協会の会員でもあった「コージ」(62歳)ががんで死んだ。ドラマ「北の国から」のログハウスや丸太小屋なども作り上げた彼が、がんに侵されたのは2年半近く前。すでにステージ4で「あと2年くらいが限界と言われた」と報告に来た。自分の家を建てている最中で、「その家で死にたい」と言った。

僕はドラマ「風のガーデン」の台本の監修をお願いした縁で親しくしていた元旭川医大の緩和ケアの教授のついで、緩和ケアの専門家のいない富良野の病院の担当医と密な連絡をとっていたことで、コージは在宅での抗がん剤治療をしつつ仕事を続けていくことになった。2年目に入り、抗がん

剤の副作用が出始め、苦痛はかなりのレベルに昇っていたはずだ。

その年の2020年11月、突然、彼は自殺を図った。刃物で首を2か所切断し、死にきれず電動ドリルで心臓を突き刺して穴を開けようとした。他のスタッフが血みどろの彼を発見し、救急車で搬送され一命をとりとめた。僕は旭川から飛んできてくれた緩和医療の担当医に尊厳死協会の彼の会員証を示し「苦痛からの解放」を懇願した。緩和ケア医は「わかりました」と言ってくれたが、心配で内科の医師に相談した。医師の答えは「新薬のできる望みもあるので希望を捨てないように」だった。それを元緩和ケアの教授に電話したら「内科はまだそんなこと言ってるんですか」と怒った。

コージのがんは1月、胃に転移したが、苦しみに耐えながら懸命に在宅での闘病を続けた。ステロイドと麻薬の投与も始まったが、明確な効果は認められなかった。97から98あるべき血中の酸素濃度も3月14日、60まで下がり、耐えかねた彼は自ら救急車を呼んで富良野協会の病院に入院した。コロナの臨戦態勢のなか頼み込んで、付き添いのスタッフを病院に張り付けてもらうことを許された。17日午前1時、そのスタッフから電話があり駆けつけた。コージはベッドの上で半分のうち回っていた。酸素吸入のマスクをいくら吸っても酸素が体内に入っていないように、声にならない声をあげ、空しく荒い呼吸音だけが病室を震わせていた。血中酸素濃度は

倉本 テレビドラマへのアプローチの仕方がなっていないとか。僕なんか、誰にも教わってないんですよ。師匠なんていないんですよ。ただ優秀な先輩たちの本を読み漁ってきたわけですよ。セリフは、街中の人たちの会話をメモしながら始めましたからね。そういう意欲を持つ人が少ないですね。

——テレビドラマの再生はありますか。

倉本 知識じゃなくて知恵から入らないとダメでしょうね。参考書とか知識から入ろうとすると先輩のマネになっちゃいますよ。——なるほど。今日は「人生の最終段階」からドラマのお話までいろいろお伺いしました。お疲れのなか、ありがとうございます。

## くらもと・そう

1935年、東京生まれ。脚本家、劇作家、演出家。本名は山谷馨。東京大学文学部美学科を卒業後、59年ニッポン放送に入社。63年に退社後、脚本家として活躍。74年に北海道に転居。77年に富良野に移住し富良野を舞台にしたテレビドラマ「北の国から」で大きな話題に。84年に若手俳優と脚本家を養成する「富良野塾」を創設し、26年にわたって主宰した。2006年より「富良野自然塾」も主宰し、閉鎖されたゴルフ場に植樹をし、元の森に戻す自然返還事業と、そのフィールドを使った環境教育プログラムにも力を入れている。代表作に「前略おふくろ様」「昨日、悲別で」「優しい時間」「風のガーデン」「やすらぎの郷」他多数。映画「駅-STATION-」「海の沈黙」なども。

40まで下がっていた。比類のないほど凄惨で残酷な時間だった。

「楽にできませんか、何とか」と看護師さんに懇願したが叶わなかった。こんなむごいことがあつていいのか、楽にできるのにならぬのではないか。許されていいの。か。「苦痛からの解放」というもう一つの大きな使命であるはずの「医学の本文」を「医」が忘れてはいまいか。

「命を永びかせる」ことにあまりにこだわりすぎたため、たとえば尊厳死・安楽死の問題をタブーとし真剣な議論の俎上にのせないで逃げていることに、僕は違和感を感ずる。

その日の昼すぎ、コージは息を引き取った。

# 会員数減少に歯止めをかけた 普及啓発・調査研究に注力



2025年度の事業計画および収支予算などが、3月8日に対面とオンラインの双方にて開催された理事会で決まりました。2024年度の決算案は、6月15日に開かれた対面とオンラインでの評議員会で審議され、了承されました。

北村義浩理事長は、今年度について「会員減少による収入減で協会活動が資金的な制約を受けるなか、今後も普及啓発活動などを維持拡大していくには、年会費のほかに寄付や遺贈などによる運営資金の確保も強化していかなければならない」としています。

## 会員数の現況

2024年度末の会員数は7万5061人で、前年度に比べ6303人の減少。昨年は6140

人、その前年が約6900人の減少でしたから、依然として減少傾向に歯止めがかかっていません。新入会者数は1532人で前年度の1965人に比べ433人の減少。退会者(死亡・会費3年未納自動退会を含む)は7828人(前年度は8105人)と前年に比べ微減ではありましたが、依然として入会者を大きく上回っています。昨年ラジオや婦人雑誌を使つての普及啓発活動に力を注いできましたが、目立った効果が表れているとはいえない状況です。

新入会者で最も多かったのは70歳代(約34%)で、ここ10年以上、変わっていません。次が80歳代、60歳代と続きます。ちなみに2017年

単位：円 △はマイナス

## 日本尊厳死協会の決算・予算書(要約)

科目	2024年度予算	2024年度決算	2025年度予算
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
受取会費	110,080,000	107,775,473	107,005,000
受取補助金等	2,328,000	1,682,250	0
受取寄付金	47,100,000	11,507,709	36,470,000
雑収益	9,848,000	9,212,196	5,038,000
その他収益	9,000	27,815	11,000
経常収益計	169,365,000	130,205,443	148,524,000
(2) 経常費用			
事業費	203,601,000	175,165,094	145,772,000
管理費	22,043,000	23,824,543	22,739,000
経常費用計	225,644,000	198,989,637	168,511,000
当期経常増減額	△ 56,279,000	△ 68,784,194	△ 19,987,000
<b>2. 経常外増減の部</b>			
当期一般正味財産増減額	△ 56,279,000	△ 68,784,194	△ 19,987,000
一般正味財産期首残高	632,436,645	631,031,649	631,031,649
一般正味財産期末残高	576,157,645	562,247,455	611,044,649
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
特定資産運営益	1,000	1,568	1,000
当期指定正味財産増減額	1,000	1,568	1,000
指定正味財産期首残高	2,848,172	2,846,228	2,846,228
指定正味財産期末残高	2,849,172	2,847,796	2,847,228
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>579,006,817</b>	<b>565,095,251</b>	<b>613,891,877</b>

から開始したWEB入会登録数が昨年は342人増えて2166人に達しました。WEB入会は40代、70代が多く、徐々に若年層への効果がでてきているといえます。

## 事業報告と計画

①LWの普及啓発事業、②登録管理事業、③調査研究及び提言事業が3つの柱。

①の啓発事業として、昨年度は講演会、セミナーおよび出前講座の総数は119回(前年度は117回)とコロナ時(70回程度)より大幅に改善。メディア普及啓発活動として、2022年からTBSラジオ、一昨年5月号から「婦人公論」にてメディア展開を行

つてきていますが、ラジオは昨年9月で終了としました。受容協力医師数は100人増、2300人体制を目指してきましたが2130人に留まっています。さらに遺贈寄付の働きかけとして提携先の三井住友信託銀行と講演会を共催。

②は「会員数の現況」を参照。

③の活動としての東京大学医学部老年病科との共同研究は、アンケート内容を解析し、投稿しました。また昨年9月に開催されたアイルランド・ダブリン大会にて「死の権利協会世界連合」の来年の東京開催が決定しました。さらに協会内の法制化推進委員会がまとめた法律案一式を議員連盟に提出しました。

## 24年度決算

5628万円の赤字予算でしたが、収益約1億3020万円に対し経常費用が約1億9900万円、6880万円の赤字決算となりました。

## 25年度予算

経常収益は1億4852万円を見込み、経常費用1億6851万円を計上。約2000万円の赤字予算編成となりますが、リビング・ウィルの普及啓発のさらなる拡大、調査研究事業等に力を注ぎつつ、新たな収入源の確保などに取り組むこととなります。

## 2025年度 日本尊厳死協会役員等名簿

<b>【顧問】</b>	
奥田 碩	元トヨタ自動車株式会社社長
倉本 聡	脚本家・作家
小泉純一郎	元首相
鮫島有美子	声楽家・ソプラノ歌手
吉永みち子	作家
<b>【名誉会長】</b>	
岩尾總一郎	医師、前日本尊厳死協会代表理事、元厚生労働省医政局長
<b>【代表理事】</b>	
北村義浩	医師、日本医科大学教授
<b>【副理事長】</b>	
上別府圭子	看護師、国際医療福祉大学大学院教授
野元正弘	医師、愛媛大学客員教授
<b>【専務理事】</b>	
嵯峨祐治	本部事務局長
<b>【理事】</b>	
伊藤道哉	医師、東北医科薬科大学医学部臨床教授、日本尊厳死協会東北支部長
岡田就将	医師、東京科学大学大学院教授
小川純人	医師、東京大学大学院教授
川名理恵子	公益社団法人理事
神田 麻	弁護士、臨床検査技師
田村幸代	会社代表、医療法人理事
土肥健太郎	弁護士、土肥法律事務所
羽田真博	看護師・理学療法士・介護福祉士、ソフィアメディ株式会社事業本部第二事業部部长
満岡 聡	医師、医療法人満岡内科クリニック理事長
宮本礼子	医師、日本尊厳死協会北海道支部長
<b>【監事】</b>	
大月将幸	弁護士、公認会計士
保尾福三	元会社役員
<b>【評議員】</b>	
井尾和雄	医師、医療法人社団立川在宅ケアクリニック理事長
伊勢田暁子	看護師、国会議員政策担当秘書
大瀧守彦	元ジョンソン・エンド・ジョンソン代表取締役
北村 聖	医師、公益社団法人地域医療振興協会顧問
城 祐一郎	昭和大学医学部教授
神馬幸一	独協大学教授
松隈知栄子	弁護士、松隈法律事務所
宮島俊彦	兵庫県立大学客員教授
<b>【支部長】</b>	
宮本礼子	医師、協会理事(北海道)
伊藤道哉	医師、東北医科薬科大学医学部臨床教授、協会理事(東北)
杉浦敏之	医師、医療法人社団 杉浦病院理事長(関東甲信越)
野嶋庸平	元新聞社事業委員(東海北陸)
浦嶋偉晃	前関西支部事務局長(関西)
高橋浩一	医師、医療法人和会 折口医院院長(中国地方)
西口 潤	医師、医療法人社団愛和会 あさひクリニック院長(四国)
清藤千景	医師、医療法人清藤クリニック院長(九州)

# 私の希望表明書 ①

【記入は任意です。書きたい時がきたら記入してください。迷う場合は書かなくてもよいです。】  
リビング・ウィル3箇条に加え、私の思いや人生の最終段階における具体的な医療に対する要望にチェックを入れました。自分らしい最期を生きるための「私の希望」です。

記入日 年 月 日 本人署名

## 希望する医療措置について

- 点滴  輸血  酸素吸入  
 人工呼吸器装着  人工透析  抗がん剤  心肺蘇生  昇圧剤や強心剤

## 希望する栄養や水分補給

- 口から入るものだけを食べさせてほしい  状態に応じた少量の点滴  
 胃ろうによる栄養  経鼻チューブ栄養  中心静脈栄養

## 緩和ケア

- 医療用麻薬や鎮静薬も使用して、痛みを感じることがないように十分な緩和ケアを行ってほしい  
 肉体的な苦痛だけでなく、精神的・社会的な痛みへのケアも行ってほしい  
 私の死に直面し、喪失感と悲嘆に暮れる人々への精神的・社会的なケアを行ってほしい

## 意思の疎通ができなくなったとき

- リビング・ウィルと「私の希望表明書」だけでは判断しきれない場合は、私の代諾者や医療・ケアに関わる関係者が繰り返し話し合い、私の最善を考えてください  
 私が少しでも意思表示をする場合は、その意図をくみ取る努力をお願いします

## 最期の過ごし方

- 場所  
 自宅(自分の家・子供の家・孫の家・親戚の家:具体的な名前 \_\_\_\_\_)  
 自宅以外( \_\_\_\_\_)  
 高齢者施設の居室  介護施設  病院  ホスピスや緩和ケア病棟  
 分からない  その他( \_\_\_\_\_)

## 誰と(ペットの名前を書かれても結構です)

1. \_\_\_\_\_  
2. \_\_\_\_\_  
3. \_\_\_\_\_

## どのように

.....  
.....  
.....

2024年度 「電話医療相談」の結果まとまる

# 「尊厳死の相談」が相対的に増加 相談件数の減少のなか



「1年前から血液透析。半年試してみてもいわれて1年が過ぎた。透析の後は体がだるくて辛いだけなので中止をお願いしたら、肺に水が溜まって苦しただけが勝つ、と言われた。このままでは尊厳死なんてできない。『透析を止めた日』の本を取り寄せて読んだ。緩和ケアでもなんでもできると思うが中止するのは難しいか(81歳 男性)」

「80代の夫は多臓器不全と敗血症で入院中。他の支援がなくても自宅で見守るつもりでいるが、近くの在宅医から、胃ろうをしないと受け入れられないと言われた。胃ろう拒否でも受け入れてくれる在宅医を教えてください(75歳 女性)」

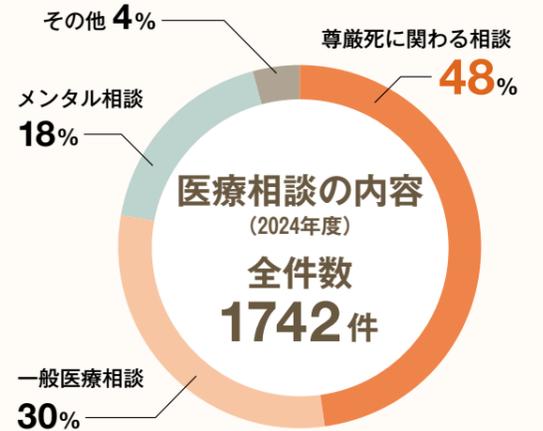
「すい臓がんのステージ4。抗がん剤治療をしても効果がなく、副作用の下痢がひどいだけなので止めた。医師と何回も話し合いを繰り返

しているが平行線。治療を独断で止めても問題はないか(68歳 男性)  
「一人暮らし。足が不自由なので週に1回、ヘルパーさんに買い物をお願いしている。昨日は一人で買い物に行ってみたが、私の声も聞こえにくく、動きも遅いので嫌味な対応をされた。自分みたくいなのが長生きしているのはよくないとか考えて眠れなかった(90歳 女性)」  
「60代の娘はパーキンソン病で四肢の痛みが苦しんでいる。尊厳死協会では、がんの痛みについては緩和ケアなどでよく取り上げているが、がん以外の痛みについても、もっと取り上げてほしい(96歳 女性)」

※ 2024年4月から翌25年3月までの「電話医療相談」の結果がまとまりました。当協会の相談員スタッフ(看護師3人)が引き続き、電話とメールによって交代で対応に当たりました。相談件数は552件。前年度から205件の減少。男女比は117対435。これまでと同様、女性が圧倒的に多い傾向は変わりません。内容項目別件数(相談1件につき複数の項目も)は1742件で、前年度に比べ310件の減少でした。

## 「もっと利用してほしい」

相談内容を項目別で見ると「尊厳死に関わる相談」が842件(48%)、次いで一般医療相談が512件、メンタル相談が318件で合わせて830件(48%)。2つ合わせると「尊厳死に関わる相談」とほぼ同程度となりました。前年度は尊厳死43%、一般とメンタルを合わせた件数が51%でしたから、前年度に比べて「尊厳死に関わる相談」が





季節を感じさせる1枚の写真と  
懐かしい唱歌などでつづるページです

# 四季の歌

——その風景と背景

第三十三回

## たなばたさま

権藤花代 作詞  
下総皖一 作曲



ささの葉さらさら  
のきばにゆれる  
お星さまきらきら  
きんぎんすなご

ごしきのたんざく  
わたしがかいた  
お星さまきらきら  
空からみてる

(文部省発行「うたのほん」昭和16・3)より

戦中、戦後から広く歌われ、七夕の頃になるとどこからともなく流れてくるメロディーに、童心にかえる人も多いのでは？ 昭和16年に「国民学校令」が公布され国定教科書が編纂される際に、国民学校2年生用に掲載された。

2年生には意味の分からない言葉も多かったか。「のきは」とは軒端で、雨樋などが取り付けられている軒先のこと。昔はここに七夕の笹飾りを飾っていた。「きんぎんすなご」とは金銀砂子。金箔や銀箔を砂のように砕いて蒔絵などを装飾するために使う粉のこと。星空や天の川の砂などを表している。「ごしきのたんざく」とは五色の短冊。緑、赤(紅)、黄、白、黒(紫)をいう。この五色の短冊に願い事を書いて飾ると願いが叶うとされた。

作詞は権藤花代(1899～1961年)。女性による初の童謡集とされる『雪ごんごお馬』を上梓。作曲は下総皖一(1898～1962年)。元東京芸大音楽学部長で、多くの校歌なども手がけ、総作曲数は2000曲とも。故郷の埼玉県加須市には「たなばたさま」の曲が流れる小さな橋もある。また作詞者・権藤花代の故郷・山梨県韭崎市には10基の童謡詩碑があるそうだ。

## 東北支部

☎ 0120-211-315 ✉ tohoku@songenshi-kyokai.or.jp

### 「第29回東北支部盛岡大会」& 「第11回東北リビングウイル研究会」

自宅で最期まで過ごせる人は1割程度。在宅医療を受けたくても受けられない人がたくさんいます。在宅医療とはなにか、メリット・デメリットはなんなのか、在宅医療でできないことがあるのか。日頃の臨床からの正確な情報をご提供します。

#### 第1部◎基調講演

テーマ「お家に帰ろう」

講師◎ 木村幸博(もりおか往診  
ホームケアクリニック院長)



#### 第2部◎シンポジウム

シンポジスト◎

阿部あゆみ(ケアマネジャー)

高橋栄子(訪問看護師・ありがとう訪問看護ステーション)

中村れい子(自宅でALSのご主人の介護を体験)

藤井由喜恵(本人の希望により自宅看取りを経験)

コメンテーター◎木村幸博

日時◎ 9月28日(日)

午後1時半～4時(開場1時)

会場◎ いわて県民情報交流センター 7階

「アイーナホール」

(盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1)

☎ 019-606-1717)

JR盛岡駅西口から徒歩1分

定員◎ 事前予約・先着300人

(開催当日のご来場歓迎)

予約先◎東北支部ホームページまたは電話  
(☎ 022-217-0081)

tohoku@songenshi-kyokai.or.jp)

特報◎ 10月中旬「動画録画」を東北支部ホームページ、YouTubeで公開

### 「第54回「リビング・ウイル交流サロン」

日時◎ 7月17日(木) 午後2時～3時半(予定)

会場◎ 仙台市市民活動サポートセンター 4階  
研修室5

(「広瀬通」と「東二番町通」の交差点の角。  
地下鉄南北線広瀬通駅「西5番出口」から  
上がってすぐ右手の建物)

テーマ「『人生会議』は踊る」

2018年11月に、人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み、「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」について、厚生労働省は愛称を「人生会議」に決定した。しかし人生会議は一向に普及しないままである。愛称が示すとおり、死ぬための臨終会議でもなければ往生会議でもない。生き方を尊重するACP、今をどう生きる

かという現在の生活の密かな愉しみについて、ご本人、関係者が話し合いを重ねて、ご本人の愉しみを尊重するため、どこでどう、誰と、楽しく生きるかについて話し合うこと、それが人生会議である。リビング・ウイルとして「見える化」して疾病・障害があろうとも大切な愉しみを長く続けられることこそがポイントであろう。(伊藤道哉。支部長、東北医科薬科大学医学部臨床教授)  
定員◎ 事前予約 先着30人(申し込み順。無料、どなたでもどうぞ)

#### リレーエッセイ

### 「LW(リビング・ウイル)のチカラ」

#### 私のいつもの日常

山形県の吉岡孝志支部理事(医師、山形大学医学部臨床腫瘍学分野教授)のいつもの日常は、朝の回診から始まります。ベッドを回り朝の挨拶が終わる。でも気になることがあると、ベッドを回りながらも考えてしまいます。今日は一人の患者さんについて悩んでしまいました。神経内分泌腫瘍と診断をしましたが、手術は難しい状況。内分泌療法を行いました。できれば手術ができないものか。念のため、再度、国立がんセンター中央病院に手術の可能性を相談することにしました。

患者さんにとっては、どんな気持ちでしょう。手術は不能との再度の返事があれば、患者さんはとてもつらい。そして、私もたいへんつらい。このまま、一度も病巣が消えず、身体に残したまま、治療を続ける…。せめて一度は病巣が消えて、最悪から逃れることができないものか。手術ができるかどうかの判断を待つ患者さんはどんな気持ちだろう。今朝は、こんな患者さんへの思いを抱いて、退職の日を迎えようとしています。これが最後の経験かもしれないが、本当に残念な朝となってしまった。いつもの日常ながら、臨床医師としての最後の痛哭の思いの吐露となりました。

#### 支部長から

もうこりた(忘己利他)

「己を忘れて、他を利するは、慈悲の極みなり」。伝教大師最澄(767～822年)のポリシーである。我儘を捨て、人びとを支援し、安寧をねがい、苦痛を緩和する。市の聖、空也上人(903～972年)は、「山川の末に流るる椽殻も 身を捨ててこそ浮かむ瀬もあれ」と詠じ、忘己利他を実践した。井戸を掘り、軀を茶毘に付し、皇服茶を奨め、疫病退散、公衆衛生に尽くした。南無阿彌陀仏の念仏が、六体の佛として「見える化」したお姿をコロナ禍の東京にも顕現された。リビング・ウイルは一人ひとりの願いの「見える化」である。共有して、一人一人の願い、愉しみができうる限り続けられるよう、皆で精進しよう。(支部長 伊藤道哉)

## 北海道支部

☎ 0120-211-315 ✉ hokkaido@songenshi-kyokai.or.jp

### オンライン講演会

日時◎ 7月26日(土)

午後2時～3時半

演題◎ 「自宅での認知症の母の  
介護と看取り」

講師◎ 大野 孝(札幌認知症のひと  
家族の会 会長)



主催◎ 日本尊厳死協会北海道支部

定員◎ 500人(会員・  
非会員を問わず無料)

形式◎ オンライン(ZOOM)

申し込み◎ 北海道支部ホームページ(前日まで)

#### 【講演概要】

私は仕事の都合もあり、82歳の認知症の母と同居しました。その頃、私はまだ認知症についても何も知りませんでした。そのため、正論を言っただけで母とぶつかり、「懸命に世話する俺になぜ？」という混乱とストレスを抱えていました。そんな時「札幌認知症のひとと家族の会」に入会し、転機が訪れました。認知症を理解すると発想が転換でき、「同じするなら何事も楽しく」介護するようになりました。また「一人で抱え込まず介護サービスを利用していろいろな人の協力を得る」と教えられ、「いかに手抜きができるか」考えられるようになりました。

その結果、母を94歳で自宅で安らかに看取るまでの間、多くの人の協力を得て楽しく介護することができました。母からは「死んでもお前のことは忘れません」と言われ、うれしかったです。認知症介護は「未知との遭遇、知恵比べ」で、知識は介護する上で自分も相手も守る武器になります。実際に介護している動画をお見せしながら、介護と看取りの経験をお話したいと思います。

### セミナー(第2回)

### 最晩年の生き方を考える集い ～医療と介護から～

日時◎ 7月22日(火) 10時～11時

題目◎ 安らかな最期を迎えるためには、  
医療はどうしたらよいですか?

講師◎ 宮本礼子(支部長、医師)

対象◎ 一般市民(会員、非会員を問わず。無料)

会場◎ 札幌エルプラザ4階 大研修室  
(札幌市北区北8条西3丁目)

定員◎ 60人(申し込み不要、当日先着順)

連絡先◎ hokkaido@songenshi-kyokai.or.jp

\*参加者の皆さまの疑問にお答えします。

### ホームページ動画セミナー (北海道支部ホームページに掲載)

#### ① オンライン講演会(5月17日)

演題◎ 「平均寿命マイナス健康寿命の  
10年をどう生きる」

講師◎ 石原宏治(北海道新聞帯広支社長、  
元報道センター長、元くらし報道部長)

※招待状の発送が遅れご迷惑をおかけしたことをお詫び  
申し上げます。

#### ② 第2回 日本尊厳死協会北海道支部・ 札幌市在宅医療協議会 共催講演会 (6月29日)

救急医療において人生の最終段階を迎えた  
高齢者の意思を尊重するために  
—救急現場からの発信—

講演1「札幌市における救急業務の

現状と課題～超高齢社会における  
救急の特徴について～」  
大西昌亮  
(札幌市消防局警防部救急連携担当係長)

講演2「救急現場でのACP(人生会議)の  
意義」

矢崎一雄(札幌市在宅医療協議会会長、  
静明館診療所院長、医師)

講演3「救命救急医療における人生の  
最終段階の医療の現状と課題」

和田剛志(北海道大学大学院医学研究院  
侵襲制御医学分野救急医学  
教室教授、医師)

#### 地域のみなさんへ

## リビング・ウイル「出前講座」はいかがですか

- ご依頼により講師を派遣します
- 会場のご用意をお願いします
- お問い合わせは支部までどうぞ

## 新潟市公開講演会

日時◎ 9月14日(日)午後2～4時 ※開場1時半

第1部 講師 岡崎史子

(医師。新潟大学医学部医学科医学教育学分野担当 主任教授)

演題 「尊厳死と安楽死

～海外の事情から考える～

第2部 講師 杉浦敏之

(医師。医療法人社団弘恵会杉浦医院、関東甲信越支部長)

演題 「リビング・ウィルと人生会議」

定員◎ 120人(無料、要予約、定員に達した時点で申込終了)

会場◎ 新潟ユニゾンプラザ4階 大研修室

新潟市中央区上所2丁目2番2号

「ユニオンプラザ前」バス停 徒歩1分

## セミナー in 船橋市

日時◎ 9月23日(火・祝)2時～4時 ※開場1時半

内容◎ 「おひとりさま・おふたりさま」の心配事、後見人制度とリビング・ウィル～本人の想いを具現化するための意思表示とは～

講師◎ 杉浦敏之(医師。医療法人社団弘恵会杉浦医院、関東甲信越支部長)

愛澤秀一(行政書士。行政書士あいざわ法律事務所)

定員◎ 50人(無料、要予約、定員に達した時点で申込終了)

会場◎ プロム船橋 会議室

千葉県船橋市本町5丁目3番5号

伊藤L Kビル6階A室

JR・私鉄「船橋駅」北口より徒歩2分

行政書士と医師の対談形式を通して、「人生のお隣りにある身近な制度＝後見人制度」について一緒に考えるセミナーです。

【後見人制度～ともに学びを深める～】

最近、サロンやセミナー開催時に「後見人制度」について質問を受けることが増えています。実際、私たち「後見人制度」について詳しく知らず、参加者の方々からの相談により学びに繋がるケースも少なくありません。ACPやリビング・ウィルの重要性をこれまでもお伝えしてきましたが、じつはこの2つと後見人制度はとても親和性が高いのです。ということで、参加者の方々が学びを深める機会をつくることも大切な事ではないかと話し合い、皆さまの不安や疑問に少しでも寄り添えるよう、後見人制度に関するセミナーや講演会を企画し始めたところです。貴重なご意見をいただきながら、私たちの活動内容もより充実したものになるよう取り組んでまいります。

(関東甲信越支部理事 佐々木美智子)

## セミナー in 土浦市

日時◎ 9月28日(日)2時～4時 ※開場1時半

内容◎ 「もしバナゲーム」を体験し、もしもの時の話をしよう

定員◎ 30人(無料、要予約、定員に達した時点で申込終了)

会場◎ 茨城県県南生涯学習センター

小講座室3&4

茨城県土浦市大和町9-1 ウララビル5階

※土浦市役所のビルです

JR「土浦駅」西口 駅前ペDESTリアンデッキ直結

「もしものための話し合い(＝もしバナ)」を体験してみませんか。もしバナゲーム(カードを使ったゲーム)を通じて、人生において大切な「価値観」や、自身の人生の最終段階の「在り方」についてさまざまな気づきを得られる時間をご提供します。「もしバナゲーム」は、緩和ケアや地域・在宅医療に取り組む医師らが立ち上げた一般社団法人ACPが開発したカードゲームです。人生の最終段階に「大事なこと」として人が口にすることが記してあるカードを選択する簡単なゲームです。マイスタープログラムを修了した支部理事が進行をサポートいたします。

## 「人生100年時代の終活」を共催

千葉県柏市の「アミュゼ柏クリスタルホール」で4月26日、「終活カレッジin 柏～人生100年時代の終活～」が開催されました。三井住友信託銀行との共催で、東京、大阪、福岡に続く4回目となります。人生の最終章に大切なQOL(残された人生の質)と、家族にとって「争続」とならないための対策などについて、2部にわたってのお話は大好評で、質疑応答も大いに盛り上がりました。

第1部の講師は尊厳死協会の北村義浩理事長。テーマは「自分や周りの方の望む最期を迎えるための知識と準備について『死に方指南(入門編)』」。題はいささかショッキングでしたが、ユーモアを交えたわかりやすいお話でした。

第2部の講師は三井住友信託銀行財務コンサルタントの兼谷貴博氏。「今から考える自分らしい終活」と題し、大切な「財産」を活かし、守り、継承していくためにはどんなことが大切かを、丁寧に説明されました。

人生100年時代といわれますが、人は必ず最後を迎えます。自分らしい「最期」を迎えるためには元気なうちから考えておく必要がある、と感じた2時間となりました。

(本部 丹澤太良)



北村さん(左)と兼谷さん

リレーエッセイ

## 「LW(リビング・ウィル)のチカラ②」

「良く生きること！」それがすべて

岩手県遠野市の菊池俊彦支部理事(医師、医療法人亮和会 菊池俊彦内科クリニック院長)は東日本大震災の体験者です。隣の釜石市に住むいとこや叔母を津波で亡くしました。「死」をこれほど身近に感じたことはありません。

当時は50歳。亡くなった人の代わりに、「もっと良く生きる」ことが一番の供養ではないか。「したいことは、いつかではなく、今日しよう!」。そう決心し、これまで前から思っていたことに挑戦します。一番目は「中学校の初恋の人に会いたい」。さつ

そく名古屋まで会いに行きました。二番目は「フルマラソンを走りたい」。はじめは5kmも走れません。そのうちにハーフマラソンに挑戦。ついにはフルマラソンで、歩きながらも時間内に完走。

さて三番目は「バンジージャンプをする」。これはまだ、怖くてできません。しかし思い立ってトライアスロンに挑みます。5メートルしか泳げなかったのがYouTubeで泳ぎ方を勉強。52歳で石垣島トライアスロンに出場し完走。「生きてて良かった!」と思いました。それからは、さまざまなトライアスロンに参加。完走しています。

人生、生きる楽しみを十分味わえば、「死」を恐れなくなる。こう思う菊池医師です。

## 関東甲信越支部 | ☎ 03-5689-2100 | ✉ kantou@songenshi-kyokai.or.jp

### サロン in 本郷

「尊厳死」や「リビング・ウィル」について語り合います。ご予約をお願いします。

日時◎ 9月20日(土)午後1時半～3時

定員◎ 12人(無料、要予約、定員に達した時点で申込終了)

会場◎ 支部事務所 文京区本郷2-27-8

太陽館ビル5階(クローチェ本郷)

日本尊厳死協会内

地下鉄丸の内線「本郷三丁目」駅より徒歩1分

地下鉄大江戸線「本郷三丁目」駅より徒歩3分

※7月と8月は「サロンin本郷」はお休みさせていただきます。

### 相模原市公開講演会 ※前号にも掲載済

日時◎ 7月6日(日)午後2時～4時 ※開場1時半

第1部 講師 杉浦敏之(医師。医療法人社団弘恵会杉浦医院、関東甲信越支部長)

演題 「リビング・ウィルと人生会議」

第2部 講師 引野雅子(医師。医療法人社団ほくれあひきのクリニック)

演題 「最期まで自分らしく過ごすために～在宅ケアとは～」

定員◎ 100人(無料、要予約、定員に達した時点で申込終了)

会場◎ ユニコムプラザさがみはら

セミナールーム2

相模原市南区相模大野3丁目3番2号

bono相模大野 サウスモール3階

小田急線「相模大野駅」中央改札口より徒歩2分

### オンライン講演会

A～リビング・ウィルと人生会議～

日時◎ 8月10日(日)午後2時～3時

講師◎ 杉浦敏之(医師。医療法人社団弘恵会杉浦医院、関東甲信越支部長)

演題 「リビング・ウィルと人生会議」

定員◎ 300人(無料、事前予約必要・HPより予約をお願いします)

人生会議を通じて尊厳死について話し合うことは、人生を終えるまでよりよく生きることに繋がります。「死ねない老人」「続・死ねない老人」の著者でもある杉浦医師にリビング・ウィルについてお話を伺います。

B～「生きる権利」と「死ぬ権利」～

日時◎ 8月23日(土)午後3時～5時

講師◎ 盛永審一郎(小松大学大学院客員教授、富山大学名誉教授)

演題 「生きる権利」と「死ぬ権利」

定員◎ 300人(無料、事前予約必要・HPより予約をお願いします)

生命倫理学者として永く研究に取り組まれていく盛永先生より、「死ぬ権利」は「生きる権利」と対立する権利ではなく、「生きる権利」に帰属するという、それはなぜかということについて、お話を伺います。

著書に『安楽死を考えるために一思いやりモデルとリベラルモデルの各国比較』『終末期医療を考えるために一検証オランダの安楽死から』『世界は安楽死をどう考えるか—その現状と理論』(東信堂・近刊)などがあります。

四国支部 活動報告

四国支部愛媛では、2月15日に松山市男女共同参画推進センターコムズにて、「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)～もしもの時のために人生の正しいお迎えと準備を考える講演会～」と題した市民公開講座を開催しました。NPO法人ささえあい医療人権センター COMLの山口育子理事長を講師にお迎えし、「身近な死から考えるACP」と題した講演のあと、参加者との質疑応答を行いました。

7月8日(10時～)には出前講座「がんと終末期医療(がんと延命治療)」を愛媛県西条市SAIJO BASE(西条市明屋敷131-2、お問い合わせ先は0897-47-6063)で開催します。(支部理事 薬師神芳洋)



岡山市市民公開講演会

日時◎ 9月15日(月・祝)午後2時～4時(開場1時半)

会場◎ 岡山国際交流センター 8階イベントホール

テーマ「人生100年時代の生き方・備え方」

講師◎ 春日キスヨ(臨床社会学者。京都精華大学教授、松山大学人文学部社会学科教授を歴任) 著書に『長寿期リスク「元気高齢者」の未来』、『百まで生きる覚悟—超長寿時代の「身じまい」の作法』(いずれも光文社新書)他

定員◎ 270人(無料、予約不要)

松江市市民公開講演会

日時◎ 10月13日(月・祝)午後1時～3時(開場12時半)

会場◎ 島根県民会館 大会議室

テーマ「人生会議、やってみん?」

講師◎ 信友直子(映画監督) 2017年映画「ぼけますから、よろしくお願ひします」が20万人を動員する大ヒットになりました。文化庁



映画賞・文化記録映画大賞など数々の栄誉に輝いています。信友さんは現在、くれ観光特使、呉総合計画審議会委員を務めています。

定員◎ 180人(無料、予約不要)

中国地方支部 活動報告

岩国市市民公開講演会が、5月18日「シンフォニア岩国」で開催されました。講師は広島県生まれで映画監督の信友直子さん。テーマは「人生会議、やってみん?」。

優しい語り口とユーモアのある分かりやすいお話は、大好評。画面のお父様も素敵でした。なかには涙を流して頷いている参加者も。「人生会議」を実施できないまま亡くなったお母様と、すでに何回か実施しているお父様の実際のお話に「家に帰ったらさっそくやってみる」という声もありました。

質疑応答では、昨今の老々介護にはAI活用も必要になるのでは?などといったご意見もありました。(支部理事 大林宏行)

の迎え方について深く考える機会になりました。

九州支部会を3月27日(木)に開催し、新しい九州支部長に清藤千景医師が就任しました。これまで在宅医療に取り組んでこられている医師です。満岡聰現支部長(佐賀県会長)は、副支部長として支部長を支えることとなります。

九州支部 活動報告

大分県では3月22日(土)に第23回市民公開講演会を開催しました。講師は大分県副会長の有永信哉医師で、テーマは「自分らしい最期とは?」。基調講演は本部理事で北海道支部長の宮本礼子医師が「やすらかな最期を迎えるために、今、わたしたちにできること」について話されました。参加者は106人。「最期

リビングウイール懇話会 in 富山

日時◎ 7月26日(土)午後1時半～4時(受付は午後1時～)

講師◎ 山田 毅(医療法人社団 すまいる やまだホーム ケアクリニック理事長)



テーマ「“あなたらしく生きる”を支える、かかりつけ医・在宅医の役割」

会場◎ 富山市芸術文化ホール(オーバード・ホール)1階 ハイビジョンシアター 富山市牛島町9-28(富山駅北口正面、徒歩2分)

定員◎ 60人(無料、事前申し込み不要)

緩和ケア学び隊

日時◎ 7月22日(火)

講師◎ 柁宜田満代

内容◎ 愛知県碧南市在住の悪性リンパ腫の患者の柁宜田さん。最後の望みを託したCAR-T療法が効を奏し寛解に近い状態になっています。治療の選択肢が提示された時、「髪の毛が抜けるのも苦しい思いをす

るのも嫌。ただし治療しないのは未来永劫ではなく、これ以上放っておけないというギリギリまで」と主治医に望みを伝えました。主治医も受け入れ、柁宜田さんはヨガを教えることなど死ぬまでにやりたいことを「100ノート」に書き出し、会いたいと思った人には全員会いに行きました。死の淵で感じたことを語っていただきます。

日時◎ 9月23日(火・祝日)

講師◎ 坂野貴宏・和歌子

内容◎ 長女・春香さんを脳腫瘍で亡くした愛知県江南市の坂野夫妻。闘病しながら高校生活を送り、夢を諦めずに絵を描き続けた娘に向き合い、寄り添い、支えた日々は、本(『春の香り』文芸社発行、1430円)になり、映画(同名タイトルで今春イオンシネマ系を中心に全国公開)になり大きな反響を呼びました。子を亡くした親のグリーフケアも含め、語っていただきます。

※時間はいずれも午後1時半～3時半

会場◎ 青木記念ホール 名古屋市市中村区中村中町3-30(地下鉄東山線中村公園駅から徒歩8分)

定員◎ 20人(無料、下記へ事前にお申し込みください)

☎052-481-6501(平日午前9時～午後6時)

住み慣れた町で最期まで過ごすための市民セミナー in 大津

日時◎ 7月27日(日)午後2時～4時(開場午後1時半)

会場◎ 大津市ふれあいプラザ4階 視聴覚室 滋賀県大津市浜大津4丁目1番1号 明日都浜大津 京阪 びわ湖浜大津駅 徒歩約3分 浜大津バス停 徒歩約3分

講師◎ 高橋浩一(医師。日本尊厳死協会 中国地方支部長、医療法人和平会 折口医院院長)

東 昌子(医師。医療法人滋賀勤労保健会 膳所診療所所長)

定員◎ 30人(無料、お申込みは電話のみ)

☎0120-211-315(平日10時～16時)

プログラム◎「住み慣れた場所で最期まで」高橋浩一医師 30分

「独居でも最期まで自宅でかなえる実践

～大津市中南部での取り組み～」東 昌子医師 30分

30分ずつの講義のあと、会場のみなさんからの質問、疑問、想いを共有するための対話時間を設けます。



●住所を変更された場合はお知らせください

施設などに移って住所を変更される方が多くいらっしゃいます。会報や年会費の請求書などが戻ってきませんので、住所を変更された場合は、すぐに協会に電話かFAX、メールでご連絡ください。3年間、年会費の支払いが滞りますと「自動退会」となってしまいますので、お気をつけくださいますようお願いいたします。

## 遺贈と相続寄付で 未来に希望を 送riませんか?

「遺贈をしたい」「相続寄付をしたい」とのお問い合わせが  
このところ増えてきています。  
それはいったいどういうことなのでしょう。  
わかりやすくご案内いたします。

### 人生最後の社会貢献

● **遺贈**とは、遺言によってご自身の財産のすべてか一部を特定の個人あるいは団体などに遺し、それによって社会貢献活動を支援することを言います。亡くなったあと、自分の思いを叶え、ご自身が生きて証や思いを未来に託すことができます。「人生最後の社会貢献」「未来への贈り物」とも言われます。この遺贈には原則として相続税はかかりません。不動産や株式などでもかまいませんが、詳しくは当協会にご相談ください。

遺贈寄付をなさる場合、まず遺言書の作成が必要です。遺言書には「公正

証書遺言」と「自筆証書遺言」がありますが、自筆証書遺言には「どんな財産があるのか」「誰にどこに、どれくらい遺贈するか」「遺言執行者を誰にするのか」「どのような思いで遺贈を希望するのか」などを自ら手書きで文章化しなければなりません。

### 控除され非課税

● **相続寄付**とは、相続人の意思で、相続された財産から寄付することを言います。相続財産を相続税申告期間内(亡くなった日の翌日から10か月以内)に寄付をし、税務署に申告すれば、寄付財産は相続財産から控除され非課税となります。

日本尊厳死協会にご寄付いただいた  
遺産・相続財産には相続税がかかりません。

まず協会にご連絡ください

【本部連絡先】 TEL: 03-3818-6563 FAX: 03-3818-6562  
メール: info@songenshi-kyokai.or.jp

皆さまから寄せられる貴重なご遺贈・相続寄付は、最期まで自分らしく生き、尊厳ある旅立ちが保障される社会制度を確立するための大きな助けとなります。

## 「Deathフェス2025」に参加して

「死」と「生」を見つめ直すイベント「Death フェス2025」が、東京・渋谷のヒカリエで開催されました。4月14日を「よい死」の日と定め、前後6日間(4/12~17)で、10代から90代までの老若男女4200人が参加しました。テーマは「生と死のウェルビーイング」。「死」をタブー化せず、自ら考え、語り合おうというコンセプトは、まさに尊厳死協会と一致するものです。

大小68のイベントがあり、アカデミックなものとしては、「宗教と死」「スピリチュアルと死生観」「グリーンケアの重要性」「臓器移植を考える」「ジャーナリズムと死」「多死社会とは?」等々。ポップなものとしては、自分の最期の場面を考える「カードゲーム」やダーツで自分の終末期を占うなど。また「Death スナック」とやらも設けられ、アルコールをいただきながら「死」を語るコーナーも。特に人気だったのは、VR(仮想現実)を使った地獄体験、素敵なデザイン

の棺に入る入棺体験、エンディングドレスの試着等々。涙あり笑いありのパラエティーに富んだプログラムの数々。全体としてバランスの良い6日間となりました。

「Death フェス」は、若い方々60人がボランティアとして企画運営にあたり、貴重な実りある6日間となりました。共同代表(市川望美さん、小野梨奈さん)は、このイベントを10年間続けて、「死」をタブー化しがちな日本の文化を変えていきたいという意気込みを語っています。高齢者ですら自身の最期のことをそれほど考えない風潮の中、若い方々がこのようなイベントを開催したことは素晴らしいと感じました。今回は昨年に続き2回目でしたが、来年もこの時期に催すとのこと。協会としても何らかの形で協力できればと考えております。(本部 丹澤太良)



人生の最終段階における医療選択のための意思決定支援サイト

## 「小さな灯台プロジェクト」ガイド



### 高齢者の「孤独死」「孤立死」そして「自死」

「看取りのエピソード」  
(78歳夫/看取った人・妻/鳥根県)  
(前略)自分の力で死ぬと思っても、死を断ち切ったのだと思います。死ぬ30分前に電話で話しました。主人は「殺してくれ」と言いました。私が健康な体なら、もう少し一緒に暮らせたかな、とすまない気持ちでいっぱいです(後略)

対象の約20万人のうち、一人暮らしで在宅死した人は約7万6000人にのぼり、その8割近くが65歳以上の高齢者でした。単身高齢者の中には「自分も、誰にも看取られずに死を迎えるのではないかと不安に思う人が多いのもうなずけます。また、日本の自殺者の4人に1人は70歳以上の高齢者です。これらは世界的な課題にもなっており、国内外で孤独防止の取り組みが進められ、WHOもその重要性を強調しています。

**予防対策は「生きる支援」**  
これからも一人暮らしの高齢者は増えていくでしょう。たとえ家族と疎遠であっても、地域社会との新たなつながりの中で、高齢者を孤立させない工夫が必要で。しかし、大切なのは高

年齢者自身が「生きて何かを成したいと思えること、それを諦めないこと」です。支援者は「やりたいこと」を引き出し、実現に向けたサポートをする……それこそが何よりの対策だと考えます。

ACPの話が、単に蘇生術や医療処置の有無に限定されることなく、「BUCKET LIST(死ぬまでにやりたいこと)」といった人生の希望や価値観を語り、それが当たり前となり、それをサポートし、実現させることを飲むとするような社会的風潮が育つことを願わずにいられます。このテーマについては4月18日アップの「情報BOX」で詳しくご紹介していきますのでぜひご覧ください。

難病を苦に自死されたご遺族の方から投稿をいただきました。看取った妻もご自身の病を抱えながら、老老介護の日々を送っておられたようです。このようなつらい最期を防ぐ方法はないものでしょうか。今回は「孤独死」「孤立死」そして「自死」について考えてみたいと思います。

2025年4月、警察庁の発表によると、警察が扱った検死

「孤独死」「孤立死」の8割は高齢者  
2025年4月、警察庁の発表によると、警察が扱った検死

小さな灯台プロジェクト・リーダー  
看護師 近藤和子



## ご寄付ありがとうございました (敬称略)

ご寄付いただきまして誠にありがとうございました。対象は令和7年3月1日から令和7年5月31日までにご寄付いただいた方々です。職員一同深く感謝します。普及啓発事業等に有効に活用させていただきます。

青木 安子	2,000	辰巳 みつぎ	100,000	ペンネーム「夢」	10,000	匿名・富山県	400
朝倉 和子	10,000	中島 詔司	10,000	匿名・北海道	1,000	匿名・長野県	10,000
荒川 ミチエ	300,000	中村 一	29,000	匿名・宮城県	10,000	匿名・三重県	30,000
荒川 敏彦		永松 桂子	3,700	匿名・千葉県	100,000	匿名・京都府	10,220
稲岡 常嘉	20,000	野本 初枝	20,000	匿名・東京都	700	匿名・兵庫県	32,175,782
井上 初子	10,000	原 雄次郎	50,000	匿名・東京都	10,000	匿名・愛媛県	100,000
岩村 巖	3,000	平野 久美子	50,000	匿名・東京都	1,000	匿名・福岡県	745
工藤 香代美	30,000	広川 ミエ	30,000	匿名・東京都	3,000	匿名・福岡県	8,000
栗原 瞭子	1,000	弘島 美代子	50,000	匿名・東京都	10,000	東北支部扱い 匿名・宮城県	3,000
小島 洋子	70,000	本田 崇	3,000	匿名・東京都	10,000		
坂本 一二子	20,000	三田村 百合子	10,000	匿名・神奈川県	3,000	関東甲信越支部扱い 匿名・東京都	1,210
佐々木 宗彦	10,000	矢内 なおみ	100,000	匿名・神奈川県	10,000		
佐藤 憲一	10,000	ペンネーム		匿名・神奈川県	10,000		
椎原 英造	10,000	「安楽死おいちゃん」	10,000	匿名・神奈川県	10,000		

## 多額の遺贈寄付が寄せられました

兵庫県にお住まいの90歳代の女性会員から3217万円という多額の遺贈寄付がありました。寄付は、「日本尊厳死協会の活動に役立ててほしい」との趣旨です。あらためてお礼申し上げます。

## ご支援のお願い

1976年に設立された日本尊厳死協会は2020年4月、一般財団法人から公益財団法人に生まれ変わり、新しい時代を迎えました。これからも「尊厳ある死」の社会実現のためにさらなる活動を続けてまいります。会員のみなさまの年会費(2000円)で全ての活動費を賄うことは難しいのが現状です。さらにきめ細かな、会員のみなさまに寄り添った活動をおこなうためにも、ご寄付をお願いできればと思います。ご協力をお待ちいたしております。

公益財団法人への寄付金と会費は、特定公益増進法人への寄付金として、税制上の優遇措置があります。なお多額のご寄付をいただいた個人、法人には紺綬褒章の制度もあります。詳しくは協会のHP (<https://www.songenshi-kyokai.or.jp/>) をご覧ください。お電話でもお問い合わせください。

## リビング・ウイル受容協力医師

第120報

2025年3月～2025年5月の間に新しく登録なさった医師の方々です。

内:内科 循:循環器科 呼:呼吸器科 消:消化器科 呼内:呼吸器内科 消内:消化器内科 外:外科 整:整形外科 小:小児科 放:放射線科  
リハ:リハビリテーション科 皮:皮膚科 肛:肛門科 泌:泌尿器科 心内:心療内科 脳外:脳神経外科 緩和:緩和ケア科 神内:神経内科 老内:老年内科  
麻:麻酔科 精:精神科 肝内:肝臓内科 アレ:アレルギー科 脳内:脳神経内科 訪:訪問診療 看:看とりにしている

医療施設名	診療科	医師名(敬称略)	施設所在地	電話
立川在宅ケアクリニック	内	小西 亜佐子	東京都立川市曙町2-8-28 TAMA MIRAI SQUARE 5階	042-506-1990
順天堂大学医学部附属浦安病院	血内	三森 徹	千葉県浦安市富岡2-2-1	047-353-3111
玉穂ふれあい診療所	内・緩和	高田 慧子	山梨県中央市成島2439-1	055-278-5670
西田外科	内・外・心内・皮	西田 芳寛	大阪府泉佐野市大宮町5-3	072-462-8725
かしもと内科・胃と腸の内視鏡クリニック松山	内	榎本 洋平	愛媛県松山市来住町518	089-976-7161
いしいケア・クリニック	内	原田 唯成	山口県岩国市麻里布町3-5-5	0827-29-0114
ヒカリノ診療所	内	平山 匡史	大分県大分市大字寒田944-3 芝崎ビル1階101号	097-504-7755

### 【LW受容協力医師についてのご案内】

全国に2,000人以上が登録しているLW受容協力医師のお名前や医療機関名は、協会ホームページで閲覧することができます。都道府県を指定して検索する方法と、地図から検索する方法の2通りが可能です。紙に印刷したリストをご希望の方は、ファックスか郵便でお送りいたしますので、本部事務局までご連絡ください。

## ● LW受容協力医師をご推薦ください

会員のみなさまの不安として、周辺に受容協力医師がいないことがあるかと思えます。そうした不安を少しでも和らげるため、本部では、みなさまのかけつけ医師をご紹介いただければ、その医師に「LW受容協力医師の登録」をお願いします。

会員の方の①お名前、②会員番号、③お電話番号、④かけつけ医師のお名前(病院名)・住所・お電話番号を、本部「受容協力医師担当」まで、電話、ハガキ、手紙、FAXまたはメールでお知らせください。

## 遺贈寄付の受け入れ体制充実へ

当協会は、三井住友信託銀行株式会社(以下三井住友信託銀行)と遺贈希望者の紹介に関する協定をしました。今後、当協会宛に専門的な遺贈寄付の相談がありましたら、三井住友信託銀行の財務コンサルタント等専門のスタッフをご紹介させていただきます。

## 専門家に無料で相談!

近隣店のご案内

0120-977-641

三井住友信託

検索

スマートフォンの方はこちら



電話受付時間:平日9:00~17:00 ※最寄りの店舗へお取次ぎいたします。

## 当協会へのご寄付は、税額控除の対象となり 約40%が所得税額から控除されます。

### 〈ご寄付の方法〉

- 郵送先等 〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-8太陽館ビル501 公益財団法人日本尊厳死協会
- 銀行振込 三菱UFJ銀行神田支店 普通預金 0048666
- クレジットカード ホームページに、入力フォームがあります。
- その他 寄付専用の郵便振込用紙もあります。

電話、メール、FAX等でご請求いただければ郵送致します。

※ご寄付で「匿名」を希望される場合は、お名前と「匿名希望」を必ずお書き添えください。

## ●本部

〒113-0033  
東京都文京区本郷2-27-8  
太陽館ビル501  
TEL 03-3818-6563  
FAX 03-3818-6562  
メール  
info@songenshi-kyokai.or.jp  
ホームページ  
https://www.songenshi-kyokai.or.jp/

## ●北海道支部

フリーダイヤル 0120-211-315

## ●東北支部

フリーダイヤル 0120-211-315

## ●関東甲信越支部

〒113-0033  
東京都文京区本郷2-27-8  
太陽館ビル501  
TEL 03-5689-2100  
FAX 03-5689-2141

## ●東海北陸支部

フリーダイヤル 0120-211-315

## ●関西支部

フリーダイヤル 0120-211-315  
〒669-1529  
兵庫県三田市中央町15-43  
たなかホームケアクリニック  
なんでも相談所内

## ●中国地方支部

フリーダイヤル 0120-211-315

## ●四国支部

〒760-0076  
高松市観光町538-2  
あさひクリニック内  
TEL 087-833-6356  
FAX 087-833-6357

## ●九州支部

フリーダイヤル 0120-211-315

各支部HPへのアクセスは  
本部HPからのリンクをご利用ください。  
※お電話は平日午前9時半～午後5時。

# リビング・ウイル —Living Will—

(人生の最終段階における事前指示書)  
(2022年11月改訂版)

この指示書は私が最後まで尊厳を保って  
生きるために私の希望を表明したものです。  
私自身が撤回しない限り有効です。

- 私に死が迫っている場合や、意識のない状態が長く続いた場合は、死期を引き延ばすための医療措置は希望しません。
- ただし私の心や身体の苦痛を和らげるための緩和ケアは、医療用麻薬などの使用を含めて充分に行ってください。
- 以上の2点を私の代諾者や医療・ケアに関わる関係者は繰り返し話し合い、私の希望をかなえてください。

私の最期を支えてくださる方々に深く感謝し、その方々の行為一切の責任は私自身にあることを明記します。

## リビング・ ウイルの勧め

日本尊厳死協会は、命の終わりが近づいたら延命措置を望まないで、自然の摂理にゆだねて寿命を迎えるご自分の意思を表した「リビング・ウイル」を発行、その普及に努めています。

現在約8万人の方々「リビング・ウイル」を持ち、安心して日々を送っています。自然のまま寿命を迎えることは、最期の日々をよりよく生きることであり、今を健やかに生きることにつながります。

お友だちやお知り合いに協会や「リビング・ウイル」のことをお伝えいただければと願っています。

## 事務局から

# 会費の自動払込のご案内 希望者はこちらご連絡ください

年会費払い込みには、自動払込制度(金融機関口座から自動引き落とし)があります。利用には諸手続きが必要ですので、ご希望の方は本部事務局までご連絡をお願いします。次の要領で実施しております。なお郵便局窓口では申し込めません。

- 対象 ▶ ご希望の会員
- 払込日 ▶ 会費払込該当月の28日(28日が土日祝日の場合は翌営業日に引き落とし)
- 払込額 ▶ 会費相当額
- 手数料 ▶ 1回の払込に165円(150円+税)のご負担があります
- 取扱 ▶ 国内ほとんどの金融機関(信金、信組、金融機関、ゆうちょ銀行、農協含む)
- 領収書 ▶ 預金通帳の金額摘要欄に協会名を印字。領収書は発行しない

●なお、これまで同様、コンビニや郵便局での振り込みも可能です。会報が緑色のビニール封筒で届きましたら年会費の納入時期です。封筒の表に「年会費払込票在中」と印刷してあります。銀行振り込みの場合は会員番号(00を省く)も記入して下さい。なお振込手数料は郵便局窓口で通帳なら203円、郵便局ATMが152円、コンビニが110円です。



今号の1枚  
「夏よろこぶ…」

## Living Will 目次

— 会報2025年7月 No.198 —

- 02 巻頭インタビュー  
脚本家 倉本 聰さん
- 08 25年度事業計画・予算決まる
- 10 電話・メール医療相談の結果
- 11 私の希望表明書
- 13 LWのひろば
- 14 連載「四季の歌」たなばたさま
- 16 支部活動・報告  
2025 夏～秋
- 22 「小さな灯台プロジェクト」ガイド
- 23 遺贈・相続寄付のご案内
- 24 LW受容協力医師のリスト
- 25 寄付された方々
- 26 事務局から／編集後記／目次
- 27 人生の最終段階における  
事前指示書／本部・支部一覧  
裏表紙 出版案内

協会会員：7万4227人  
(2025年6月2日現在)

次号は、  
2025年10月1日発行

※本誌記事の著作権は日本尊厳死協会にあります。  
引用、転載に関しましては当協会にご相談ください。

## 編集後記

●苦痛にのたうち回った末に亡くなった身近な人の「最期」に接した倉本聰さんが、「地方にも緩和ケアやホスピスを」と訴えた「トークライブ」を地元・富良野で開き、そのあとインタビューとなりました。「今の医学生の希望のトップは美容医療なんだって!」「医師が命に関わらなくてどうするの?」。杖を手にした90歳の眼光には鋭いものが。周りに亡くなる人も多く、ドラマ史上に残る「北の国から」で「純」と「蛍」の両親を演じた田中邦衛さんもしただあゆみさんも亡くなりました。亡くなっていく人を見ても最近「あまり思わなくなった」そうです。「90まで生きてくると人の死が珍しくなくなる」「親しかった人が電話帳からどんどん消えていく」。そんな言葉を思い起こしながら、富良野から雪をかぶった十勝連山を望みました。

さて「電話医療相談」の結果ですが、件数は減りましたが「尊厳死の相談」が相対的に増加。相談員は「件数は会員数の1割にも達していません。もっと利用して」と話しています。(郡司)

※表紙の下方にQRコードを付けたので、ご利用下さい。

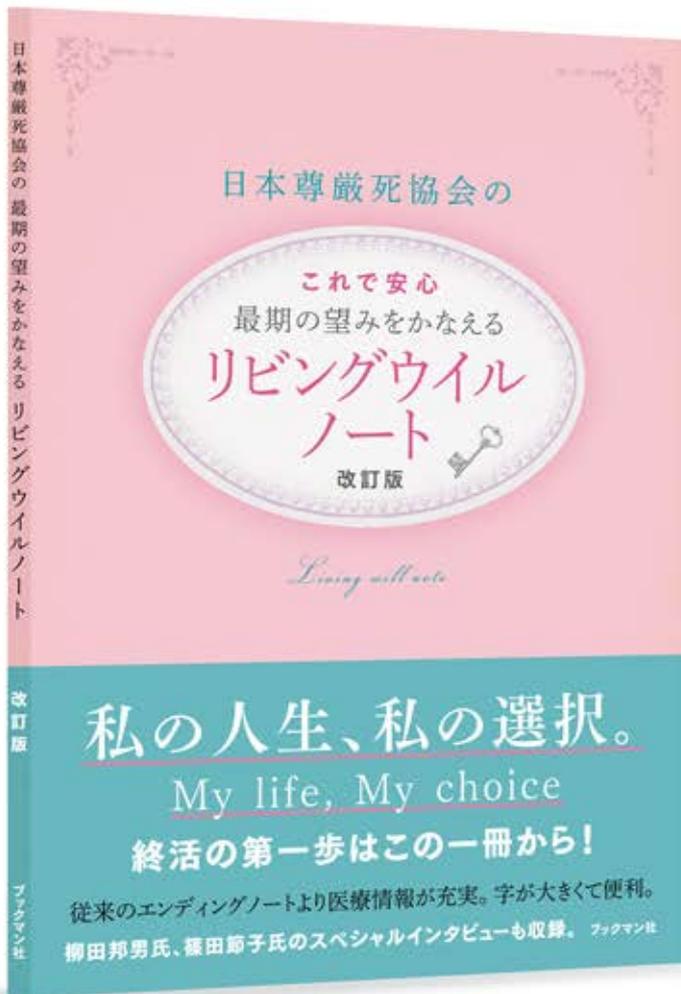
日本尊厳死協会の出版案内

好評  
発売中!

最期の望みをかなえる

# リビングウイルノート

最期まで「自分らしく生きる」がここにあります。



## 主な内容

- 尊厳死協会の会報「Living Will」のインタビューに登場された作家の篠田節子さん、柳田邦男さんの名言を再録。
- 知っておきたい在宅医療の始め方、緩和ケアの大切さのほか延命措置やACP(人生会議)など医療情報の解説や尊厳死協会の役割、尊厳死と安楽死の違い、さらに「私の病気の記録」や「もしもの時の確認メモ」(健康保険証や基礎年金の番号など)、「終末期の最期の過ごし方の希望」「食べることができなくなった時の希望」……など、書き込むページや欄もたくさん詰まったエンディングノートの決定版。
- 「旅立ったあとで～大切な人へのメッセージ」や「旅立つ前に会っておきたい人」、「葬儀に呼んでほしい人」を書き込むリストの欄も充実

発行:ブックマン社  
定価:1300円(税別) A4判104ページ

この「リビングウイルノート」には、  
あなたの「リビング・ウイル」を入れるスペースがあります。  
是非お手もとにセットで!!  
もしもの時にそなえ、こころの「生前整理」を